

令和 3 年 5 月 23 日現在

機関番号：14401
 研究種目：基盤研究(B) (一般)
 研究期間：2017～2020
 課題番号：17H02237
 研究課題名(和文) 東アジアのPM2.5汚染の固有性を解明するための最先端科学知による文理融合研究

 研究課題名(英文) Advanced Interdisciplinary Research and International Collaboration for PM2.5 Problems in East Asia

 研究代表者
 三好 恵真子 (MIYOSHI, Emako)

 大阪大学・人間科学研究科・教授

 研究者番号：60294170
 交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、越境汚染の懸念を求心している東アジア(主として中国)のPM2.5汚染に着目し、リスクの脅威が技術的・経済的發展から出現するという概念だけでなく社会的行為概念と結びつけて検討することの重要性に立脚し、科学的先端性と文理を融合した課題解決型の地域研究を遂行した。具体的には、生活環境学・経済地理学・質量分析学の専門家が協働し、自然科学的理解や技術・方法論のみならず、社会や経済・政治の仕組みをいかに変えてゆくかも含めて、長期的な視野から体系的な分析を試み、特に人間の生存や複雑な社会動向を把握する参与的調査を主軸とした。同時に現地の人脈・資源を活かしながら日中国際協働基盤の確立を展望した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

PM2.5問題の特徴は、越境汚染に加え、原因が多様で複合的な点にある。また生成メカニズムの解明や発生源の究明のみならず、実際に課題解決を目論むためには、中国固有の政治的、経済的、社会的視点から、ガバナンスの構造的課題を明らかにしていくことが求められる。そこで本研究では、根源的な背景となる、経済・政治社会の構造的課題や人々の生活に及ぼす影響やその変容などフィールドワークに即したミクロな視点を統合して包括的に検討する試みである。さらに本研究の一連の成果は、環境を巡るコンフリクトに対峙し、日中相互の信頼醸成と共創を促進するという壮大な国際貢献をも期待できる実践的地域研究として昇華され得る。

研究成果の概要(英文)：China is currently trying to realize in a very short period of time the industrialization process. As a result, complex environmental problems have arisen due to regional disparities, compressed industrialization, and rapid urbanization. In 2011, China's air pollution problem attracted a lot of attention when the US embassy made public Beijing air quality index and PM2.5 mass concentration in social media. Prior to this, the PM2.5 mass concentration was not included in the environmental standard for air pollution, but after this event, recognition of PM2.5 rapidly expanded.

The aim of this research is to investigate the case studies of PM2.5 problems in East Asia by advanced interdisciplinary research and international collaboration. Moreover, it takes the conventional approach in the field of seeking out the special characteristics of local communities, while simultaneously seeking new ways of understanding the local in the context of an increasingly complex global environment.

研究分野：実践志向型地域研究，生活環境論，人間と自然の共生

キーワード：地域研究 中国 気候変動 大気汚染 東アジア 生活環境 環境質量化 メディア

1. 研究開始当初の背景

日中国交正常化から40数年が過ぎ、両国はこの間、政治、経済、外交等あらゆる分野において関係性を密にし、特に経済面では、相互依存関係の重層的実態を強めている。その反面、領土問題、大気汚染などの資源・環境問題は、政治・外交、さらには個人個人の意識レベルに至るまでにおいて先鋭化し、両国間の緊張関係は高まりつつある。したがって、グローバルに台頭する中国の環境問題に対する東アジアの連携は不可欠であり、中でも「一衣帯水」の隣国としての日中における協力体制強化の必然性は自明である。

本研究では、越境汚染として最大の懸念を集めている東アジア（主として中国）のPM_{2.5}汚染に着目した。PM_{2.5}はそのほとんどが人為的な排出によるものであり、また発生源から直接排出される一次発生粒子と大気中に放出された後、化学的・物理的变化を経た二次成粒子とがある。中国では2012年3月に中国環境保護部と国家質量観測検査総局によりPM_{2.5}を導入する「環境大気質量基準」(GB3095-2012)が公表され、2012年よりPM_{2.5}の全国的な測定が開始されている。その後、2013年1月に北京市で米国大使館により観測されたPM_{2.5}の質量濃度の変動をみると、米国の環境省の基準よりも数十倍高く、現在の科学的知見を持ち合わせてもこれ程までに高濃度のPM_{2.5}が発生する理由を説明できないでいる。同時にこれまで経験してきたPM_{2.5}に関連する歴史的な大気汚染、例えばロンドンスモッグ事件(1952年)、ロサンゼルス光化学スモッグ(1950年代から1970年代に発生)とは、有機成分の組成、発生メカニズム、原因物質等のいずれにおいても、全く様相が異なることが分かってきた(豊田, 2016)。さらに最新鋭のシミュレーションモデル(3次元化学輸送モデル)を用いても、北京で観測されたPM_{2.5}の20%程しか再現できず、現場測定値と著しくかけ離れていたことも報告されている(鶴野他, 2013)。

他方で、中国の大気汚染は極めて複雑であり、地域格差も存在し、圧縮型工業化の進展に伴う環境破壊や生活内容の変化により、沿岸部都市と内陸部都市の大気汚染状況が異なる様相を呈している。

2. 研究の目的

こうした学術的背景から、東アジアのPM_{2.5}汚染を、未知の環境リスクとして捉え、中国の固有性を重視しながら多角的に討究する必要がある。同時に国際的連携によりグローバルな視野から俯瞰的に検討するとともに、歴史的変遷を含め、より地域性や文化的・社会的側面に配慮したミクロな視点による調査・分析を加味しつつ、包括的に対応策を講じてゆくことが肝要になるであろう。

そこで本研究では、リスクの脅威が、技術的・経済的発展から出現するという概念だけでなく社会的行為概念と結びつけて検討して行くことの重要性に立脚し、科学的先端性と学際性(文理)を融合した課題解決型の地域研究を遂行するものである。具体的には、環境問題や中国地域研究に実績を有す生活環境学・経済地理学・質量分析学の専門家が協働し、濃厚な現地の人脈・資源を活かしながら、最先端科学による文理融合研究(実践志向型地域研究)を展開し、これまで国際レベルでもなし得なかった課題解決への一助を展望していく。

3. 研究の方法

本研究では、主に以下の4つの課題を掲げ、包括的に検討していく。

[課題1] 事例分析による大気汚染の背景にある経済・政治・社会の構造的課題の討究

主に中国の重点汚染地域である「京津冀地域」「長江デルタ」「珠江デルタ」を中心に参与的調査、聞き取り調査ならびに可動式の実測を加えつつ総合的に解釈していく。

[課題2] 地下空間のPM_{2.5}汚染の現状と対策

都市地下空間を対象に、「参与観察」と「移動測定」を行い、また「定点測定」として5つの場所で測定を実施し、相互に比較する。さらに各測定に連動して、カオス解析による心理分析を遂行し、アトラクター、LLE(最大リアプノフ指数)、ANB(自律神経バランス)を算出する。

[課題3] リスクコミュニケーションの視座からメディア並びにリスク認知分析

中国が固有のリスク社会に突入している側面を具体化する。各種メディアを対象とした内容分析・テキストマイニングを行うとともに、リスク認知に影響する各種因子を発信側から抽出する。同時に幾つかの異なる受容者グループの認知構造を分析し、それらの特徴を明らかにしつつ、双方向からPM_{2.5}問題のリスク認知の現状と影響要因を考察していく。

[課題4] 日中協働基盤の構築を向けた交流

日中台の学校間交流並びに国際セミナーなどを企画しつつ、相互交流を促進し、未来世代へ繋ぐ日中協働基盤構築を展開していく。

4. 研究成果

(1) 事例分析による大気汚染の背景にある経済・政治・社会の構造的課題の討究

大気汚染が最も深刻な「京津冀地域」は、2008年の北京オリンピック開催を巡って、その地域経済構造が変容を遂げてきた。ただし、西南部地域から生成された汚染物質は気流と共に北部に移動する傾向があり、たとえ北京市内で厳格な環境規制が取られてながらも、いまだ大気汚染の根源的な改善されない問題にもつながっている。本研究において、2017年からの燃料転換政策施行前における河北省における調査を行った結果、強制的な施策の実行により汚染はある程度改善されたように見えても、地域住民の生活に影響を及ぼしていることが分かった。

また2018年に重点汚染地域から他よりいち早く脱出した珠江デルタにある広東省広州市において、PM_{2.5}の実測、聞き取り調査、参与観察を行った結果、自動車に関する政策は有効に

機能していたものの、限界性もある一方で、ガソリン車に代わる電気自動車の急速な普及、公共交通の発展やカーシェアリングの出現などにより、人々がそれぞれの生活の向上を維持しながらも積極的に環境問題に対応している姿が見えてきた。大気汚染の数値面での改善は政策制度の実行効果によると単線的に見なされがちであるが、環境意識などの人の認識やその変化を含む地域で起こっている変化のプロセスを文脈から捉えることが重要になると考えられた。

他方で、農村部にある安徽省南部地域の事例では、汚染対策として全国的に画一的な対策が講じられ、種々の規制基準が満たされたとしても依然として問題が散見されるゆえに、中国伝統的農村社会の構造的な特色である「郷土社会」からの郷土性の継承に目を向けるべきである点を導き出すことができた。

(2) 地下空間のPM2.5汚染の現状と対策

中国では、2021年現在、39都市が地下鉄を開通し、総距離は6302.79kmに達している。「地下鉄内のPM2.5濃度は室外の16倍」という新聞報道も見受けられるが、その科学的真偽は定かでない。中国の場合、日本に比して外気の汚染濃度が極めて高く、また地下鉄の構造等に差異がある点にも留意する必要がある。

本研究では、北京、上海、杭州、昆明、武漢などの中国の都市地下鉄を対象に調査を行い、比較として日本の地下鉄（大阪、東京、名古屋、仙台、博多、広島、北海道）にて同様の測定を行った。中国の地下鉄は、いずれの駅も外から車内に向かって濃度が減少していく傾向が見られた。ただし、日本の地下鉄の場合、大阪と広島は他とは差異化され、それぞれ特徴的であった。広島の場合、いずれの駅も外から車内に向かって濃度が減少する傾向が見られた。これは、中国の都市地下鉄と同様にホームが閉鎖式の新しい地下鉄の構造であることが起因していると考えられたが、絶対的値は日本の地下鉄の方が有意に低かった。ただし、東京は比較的高めで、天気や気温、季節の違いなども考慮しつつ検討を加える必要があることが示唆された。日本における地下の高濃度のPM2.5に関し、質量分析を用いた先行研究と同様に地下鉄の運行が主要な原因と考えられる。ただし本研究にてCO2濃度も同時に測定したところそれほど変化がなかったため、人との関係性が低く、また屋外との関係も低いと考えられた。また地下鉄内と地下鉄の外のホームや運行空間と空気交換しているために、ホームと地下鉄車内の濃度が近い値になっていた。上記の地下鉄での実験に付随して、カオス解析による心理分析を行った結果、人の体質により外気の汚染との影響が出る場合が認められた。

一方、研究分担者豊田が開発した高性能のオンサイト型質量分析装置（MULTAN-S）については、この間、基礎研究を重ね、AIを登載した可動式の測定装置や揮発性有機化合物を測定できる装置の開発に成功しており、今後、現地測定を視野に入れた応用も検討していきたい。

(3) リスクコミュニケーションの視座からメディア並びにリスク認知分析

中国の中央政府の意向を反映している『人民日報』を対象に、1970年代から約40年間にわたる「大気汚染に関する新聞報道分析」を行い、大気汚染問題を歴史的な文脈から考察することができた。すなわち各時代にそれぞれ特徴があるものの、約40年間にわたり、政府が大気汚染問題を重視してきたことが確認された。よって政府の主導により、市民参加と社会全体における包括的な姿勢の形成が促進されてきたことが明らかとなった。

「中国人のリスク認知分析」では、因子分析やクラスター分析を実施した結果、在日中国人は3つのグループに類型化され、聞き取り調査により補完すると来日による影響を強く受けていることが示唆された。一方で、中国に滞在している中国人の場合、知識の差異により段階的に区別されるという一般的な傾向が見られ、引き続き調査結果を論文にまとめる予定である。

他方で、現代の中国社会は、ウルリッヒベックの唱えた「リスク社会」に突入したと言われているが、ベックのリスク社会論は、あくまでも西洋近代を範型としているゆえに、その議論を現代の中国にそのまま当てはめるには留意が必要である。そこで本研究では、中国におけるリスク研究をオートウィン・レンのリスク研究の分類を参照しつつ、おもに「客観的リスク」と「リスク認知」の観点から中国におけるリスク研究の発展とその固有性を明確化した。

(4) 日中協働基盤の構築に向けた交流

2017年8月に大阪大学で開催された国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境:史料・認識・対話」(会議言語:中国語)を主催した。ここでは本研究の一連の成果を公表する「東アジアの環境問題と文理融合研究」というセッションが設けられ、高い評価が得られた。

2018年度は、メディア研究に造詣の深い武漢大学との学術交流を促進した。また8月にソウル大学にて「現代中国と東アジアの新環境」を開催し、初めての韓国での開催を果たした。他方で、12月に大阪大学で行われた国際会議 International Joint Conference on Information, Media and Engineering (ICIME2018)を主催し、PM2.5を含む中国の環境問題に関する4つの報告を発表することができた。

2019年度は、5月および9月に武漢大学ジャーナリズムコミュニケーション学院と学術交流を引き続き実施し、今後さらに協働して市民の科学リテラシーの向上を図る諸策を議論した。一方、12月には香港における各大学(香港大学、香港中文大学地理系、香港科技大学人文学院、広東省深セン大学)との交流および香港政府・マカオ気象庁訪問による大気汚染に関する情報収集を行い、様々な知見が得られた。11月には台湾東華大学にて、国際セミナーを開催し、さらに12月にICIME2019を主催し、進捗成果を報告するとともに貴重な情報交換ができた。

2020年度は、COVID-19の感染拡大に見舞われ、8月に蘭州大学で行われる予定であった国際セミナーはやむを得ず中止となった。2021年1月にIJCIM2021をオンライン開催にて主催し、5件の関連発表を行い、研究の総括を行うことができた。これら経年的に行ってきた国際セミナーは、来年度以降も引き継ぎ、発展させていくこととした。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計64件（うち査読付論文 33件 / うち国際共著 21件 / うちオープンアクセス 43件）

1. 著者名 張曼青, 胡 毓瑜, 三好恵真子	4. 巻 35
2. 論文標題 「ポスト郷土中国」における養豚廃棄物処理の課題と展望 - 安徽省南部の事例における郷土性の継承及び農業実践からの再考 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 生活学論叢	6. 最初と最後の頁 31-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 柏木史菜, 三好恵真子	4. 巻 61
2. 論文標題 高齢者における食環境の多様化と食の持つ精神的意義 共食・孤食をつくりだすそれぞれの文脈とライフ・ヒストリーからの考察 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 New Food Industry	6. 最初と最後の頁 521-537
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 元村明日香, 三好恵真子	4. 巻 61
2. 論文標題 食としての機内食の固有性とグローバル社会における新たな展開 - 多様化する利用形態と特別機内食における乗客実践からの考察 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 New Food Industry	6. 最初と最後の頁 741-758
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 胡毓瑜, 張曼青, 三好恵真子	4. 巻 13
2. 論文標題 關於舟山養殖場沼気利用情况的系統分析与展望	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 第十三屆國際學術會議“現代中國與東亞新格局” 論文集	6. 最初と最後の頁 155-166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 許俊卿, 胡毓瑜, 三好恵真子	4. 巻 13
2. 論文標題 从風險溝通角度探討《人民日報》在大气污染問題上的報道变化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 第十三屆國際學術會議“現代中國與東亞新格局”論文集	6. 最初と最後の頁 167-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 張曼青, 胡毓瑜, 三好恵真子	4. 巻 13
2. 論文標題 从生活環境主義角度对中国大規模畜禽養殖污染的解決策的再探討	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 第十三屆國際學術會議“現代中國與東亞新格局”論文集	6. 最初と最後の頁 178-191
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Junqing XU, Yuyu Hu and Miyoshi, E.	4. 巻 2
2. 論文標題 A Reconsideration of Newspaper Reports Regarding PM2.5 Problems in China under the Perspective of Risk Communication:Based on the Content Analysis of the Reports of “People’s Daily” from Jan.1,2012 to Dec.31,2016	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IEEE Xplore, International Joint Conference on Information, Media and Engineering	6. 最初と最後の頁 144-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/IJCIME49369.2019.00037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuyu Hu and Miyoshi, E.	4. 巻 2
2. 論文標題 An Empirical Study on the Analysis of Singing Effects Based on Pulse Waves	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IEEE Xplore, International Joint Conference on Information, Media and Engineering	6. 最初と最後の頁 364-367
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/IJCIME49369.2019.00079	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 許俊脚, 三好恵真子	4. 巻 46
2. 論文標題 メディア研究におけるフレーム理論の扱いに関する日中比較 リスクコミュニケーションへの展開に向けて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大阪大学人間科学紀要	6. 最初と最後の頁 59-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/73790	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 張曼青, 三好恵真子	4. 巻 46
2. 論文標題 中国における生活環境主義の理論導入とその独自の展開	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大阪大学人間科学紀要	6. 最初と最後の頁 79-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/73791	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yosuke Kawai , Toshinobu Hondo , Jean-Luc Lehmann , Kentaro Terada , Michisato Toyoda	4. 巻 942
2. 論文標題 High throughput isotope abundance ratio determination based on simultaneous ion counting and waveform averaging	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section A	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nima.2019.162427	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yosuke Kawai , Yumi Miyake , Toshinobu Hondo , Jean-Luc Lehmann , Kentaro Terada , Michisato Toyoda	4. 巻 pubs.acs.org/ac
2. 論文標題 A new method for improving LC/Time-of-flight mass spectrometry detection limits using simultaneous ion counting and waveform averaging.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Analytical chemistry	6. 最初と最後の頁 A-H
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.analchem.0c00301	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yosuke Kawai, Kentaro Terada, Toshinobu Hondo, Jun Aoki, Morio Ishihara, Michisato Toyoda	4. 巻 31
2. 論文標題 Development of a Secondary Neutral Mass Spectrometer for Submicron Imaging Mass Spectrometry	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 JPS Conf. Proc.	6. 最初と最後の頁 011065, 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7566/JSPSC.31.011065	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 許衛東	4. 巻 2020-2
2. 論文標題 香港のサービス経済高度化とバリューチェーン再構築の諸問題 リーマン・ショック後における在珠江デルタ香港系製造業の経営変化による検証	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中国文化フォーラム・ディスカッションペーパー	6. 最初と最後の頁 1-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 魏 殊, 許 衛東	4. 巻 21
2. 論文標題 日台ビジネス・アライアンスの諸形態と対中経済連携の活性化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アジア太平洋論叢	6. 最初と最後の頁 77-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡 毓瑜, 張曼青, 三好恵真子	4. 巻 No.2018-1
2. 論文標題 関于建設沼気综合利用系統処理規模化養殖場糞尿問題的探討 以舟山順達牧場の个案調査為例	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大阪大学中国文化フォーラム・ディスカッションペーパー	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 胡毓瑜, 李欣, 張曼青, 許俊卿, 三好恵真子	4. 巻 12
2. 論文標題 關於中国地鉄高濃度PM2.5汚染現象的分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 第十二屆國際學術會議“現代中國與東亞新格局論文集	6. 最初と最後の頁 481 - 494
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三好恵真子	4. 巻 Vol.70
2. 論文標題 “共進化 (Co-evolution)” する研究環境 ~ 実践志向型地域研究による課題解決の試み ~	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生産と技術	6. 最初と最後の頁 33-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Manqing Zhang, Yuyu Hu and Miyoshi, E.	4. 巻 P-Pi
2. 論文標題 The Construction of Multi-Actor Biogas Utilization under Government Operation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 GRAND RENEWABLE ENERGY	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24752/gre.1.0_26	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuyu Hu, Oyama-Higa, M. and Miyoshi, E.	4. 巻 1
2. 論文標題 Using Pulse Waves for Self-Cognition	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 IEEE Xplore, International Joint Conference on Information, Media and Engineering	6. 最初と最後の頁 201-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/ICIME.2018.00049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Junqing XU, Yuyu Hu and Miyoshi, E.	4. 巻 1
2. 論文標題 A Consideration of Media Environment Regarding Air Pollution Problems in China: based on the content analysis of the reports of ' 'People' s Daily' ' from 1970.1.1 to 2011.11.30	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 IEEE Xplore, International Joint Conference on Information, Media and Engineering	6. 最初と最後の頁 211-214
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/ICIME.2018.00051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Manqing ZHANG, Yuyu Hu and Miyoshi, E.	4. 巻 1
2. 論文標題 The Cyclic Utilization of Biogas Slurry in Incomplete Information Society	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 IEEE Xplore, International Joint Conference on Information, Media and Engineering	6. 最初と最後の頁 197-200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/ICIME.2018.00048	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Xin Li, Yuyu Hu and Miyoshi, E.	4. 巻 1
2. 論文標題 An Analysis of High PM2.5 Concentration Air Pollution in Subway Stations in China	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 IEEE Xplore, International Joint Conference on Information, Media and Engineering	6. 最初と最後の頁 292-295
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/ICIME.2018.00068	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 菅野友美子, 三好恵真子	4. 巻 Vol.61
2. 論文標題 人と地域に融和するカフェ空間の本質	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 New Food Industry	6. 最初と最後の頁 121-137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumura, Y., Miyoshi, E.	4. 巻 Vol.5
2. 論文標題 The Dynamics of Regions Moving toward Energy Self-Sufficiency: Examples of 100% renewable energy initiatives from different regions around the world	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Osaka Human Sciences	6. 最初と最後の頁 87-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/71748	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kenichi Iwamoto, Hiroshi Matsubara and Michisato Toyoda	4. 巻 430
2. 論文標題 Development of an ion trap with a metastable atom bombardment ionization source to observe ion-molecule reactions	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Mass Spectrometry	6. 最初と最後の頁 80-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijms.2018.05.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 豊田岐聡	4. 巻 70
2. 論文標題 これまで見る事ができなかったモノを観る ~ 独創的な質量分析装置開発とそれらを用いた応用研究 ~	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生産と技術	6. 最初と最後の頁 54-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Y. Kawai, T. Hondo, K. R. Jensen, M. Toyoda and K. Terada	4. 巻 29
2. 論文標題 Improved Quantitative Dynamic Range of Time-of-Flight Mass Spectrometry by Simultaneously Waveform-Averaging and Ion-Counting Data Acquisition	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of The American Society for Mass Spectrometry	6. 最初と最後の頁 1403-1407
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13361-018-1967-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 魏殊、許衛東	4. 巻 21
2. 論文標題 日台ビジネス・アライアンスの諸形態と対中経済連携の活性化 「一帯一路」戦略の展開下における市場機会の分析を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジア太平洋論叢	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 許衛東	4. 巻 64
2. 論文標題 実験地域としての華南の再発見 ゴムノキからみる地域の姿	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊地理	6. 最初と最後の頁 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三好恵真子	4. 巻 11
2. 論文標題 東亜PM2.5大気汚染の特性分析：前沿科学知識下の文理結合研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 第十一回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境：史料・認識・対話」論文集	6. 最初と最後の頁 83-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 姉崎正治, 董雪農, 胡毓瑜, 三好恵真子	4. 巻 11
2. 論文標題 中国の水銀使用の現状と環境問題：地域汚染と越境汚染に関する事例検討	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 第十一回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境：史料・認識・対話」論文集	6. 最初と最後の頁 89-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 許俊卿, 胡毓瑜, 三好恵真子	4. 巻 11
2. 論文標題 大气汚染問題的紙媒報道框架考察 : 以1970-2010《人民日報》報道為対象	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 第十一回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境: 史料・認識・対話」論文集	6. 最初と最後の頁 97-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 張曼青, 胡毓瑜, 丁良才, 三好恵真子	4. 巻 11
2. 論文標題 从能源利用到環境保護: 舟山沼気利用模式的變遷及展望	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 第十一回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境: 史料・認識・対話」論文集	6. 最初と最後の頁 103-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 董雪晨, 胡毓瑜, 三好恵真子	4. 巻 11
2. 論文標題 中国電子廃棄物的非正規回收現状及対策	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 第十一回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境: 史料・認識・対話」論文集	6. 最初と最後の頁 110-116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 李欣, 胡毓瑜, 三好恵真子	4. 巻 11
2. 論文標題 中国机動車尾気対大气汚染的影響: 从三元催化器着眼	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 第十一回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境: 史料・認識・対話」論文集	6. 最初と最後の頁 117-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 HUANG XUAN, 胡毓瑜, 三好恵真子	4. 巻 11
2. 論文標題 中国中小城市生活污水处理系統的現状及分析: 以貴州省多个污水处理厂的实地調查為中心	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 第十一回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境: 史料・認識・対話」論文集	6. 最初と最後の頁 124-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 胡毓瑜, 川原春花, 三好恵真子	4. 巻 11
2. 論文標題 中国中小城市生活污水处理系統的現状及分析: 以貴州省多个污水处理厂的实地調查為中心	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 第十一回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境: 史料・認識・対話」論文集	6. 最初と最後の頁 317-322
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 三好恵真子, 胡毓瑜	4. 巻 60
2. 論文標題 中国舟山群島新区における漁撈の変容とその影響 漁民の語りから見えるソーシャル・サファリング	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 New Food Industry	6. 最初と最後の頁 43-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川優花, 三好恵真子	4. 巻 31
2. 論文標題 イランの河川灌漑システムによる農業とそれを巡る水危機 ザーヤンデルド下流地域ヴァルザネ市における生業の維持と変容からの検討	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 生活学論叢	6. 最初と最後の頁 27-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuyu Hu, Li Zhe, Oyama-Higa, M. and Miyoshi, E.	4. 巻 6
2. 論文標題 Exploring the use of pulse waves psychological indicators in learning	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Collected Papers on The Sixth International Conference on Educational Innovation through Technology	6. 最初と最後の頁 307-310
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/EITT.2017.80	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 松村悠子, 三好恵真子	4. 巻 44
2. 論文標題 エネルギー自給に向かう地域の躍動-世界各地の100%自然エネルギーイニシアチブを事例として- 5. 発行年	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大阪大学人間科学紀要	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/68288	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西川優花, 三好恵真子	4. 巻 44
2. 論文標題 イラン・ザンデルド下流域における水利権と水利慣行に関する一考察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大阪大学人間科学紀要	6. 最初と最後の頁 27-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/68289	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumura, Y., Miyoshi, E.	4. 巻 4
2. 論文標題 Forces in the Development of Remote Islands in Japan: A Case Study of Local Energy Enterprises on Tsushima Island.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Osaka Human Sciences	6. 最初と最後の頁 23-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/60574	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toshinobu Hondo, Kirk R Jensen, Jun Aok, Michisato Toyoda	4. 巻 23
2. 論文標題 A new approach for accurate mass assignment on a multi-turn time-of-flight mass spectrometer	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Eur. J. Mass Spectrom.	6. 最初と最後の頁 385-392
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13361-018-1967-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 豊田岐聡	4. 巻 70
2. 論文標題 これまで見ることができなかったモノを観る ~ 独創的な質量分析装置開発とそれらを用いた応用研究 ~	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 生産と技術	6. 最初と最後の頁 54-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Y. Kawai, T. Hondo, K. R. Jensen, M. Toyoda and K. Terada	4. 巻 26
2. 論文標題 Improved Quantitative Dynamic Range of Time-of-Flight Mass Spectrometry by Simultaneously Waveform-Averaging and Ion-Counting Data Acquisition	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of The American Society for Mass Spectrometry	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1469066717723755	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kirk R. Jensen, Toshinobu Hondo, Hirochika Sumino, Michisato Toyoda	4. 巻 89
2. 論文標題 Instrumentation and Method Development for On-site Analysis of Helium Isotopes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Anal. Chem.	6. 最初と最後の頁 7535-7540
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.analchem.7b01299	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Xu, J., Miyoshi, E.	4. 巻 7
2. 論文標題 A Comparative Study of Japan and China Regarding the Use of Frame Theory in Media Research: Toward the Development of Risk Communication	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Osaka Human Sciences	6. 最初と最後の頁 75-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/78941	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zhang, M., Miyoshi, E.	4. 巻 7
2. 論文標題 The Introduction of Life-Environmentalism to China and Its Special Development	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Osaka Human Sciences	6. 最初と最後の頁 55-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/78940	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 黄セン, 胡毓瑜, 三好恵真子	4. 巻 47
2. 論文標題 流域ガバナンスをめぐる「双河長制」に関する実践研究 貴州省貴陽市における事例からの考察	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 大阪大学人間科学紀要	6. 最初と最後の頁 59-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/79069	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 王石諾, 胡毓瑜, 三好恵真子	4. 巻 47
2. 論文標題 コロナ禍において「境界」に生きる在日中国人 -生活実践とライフストーリーからの考察-	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 大阪大学人間科学紀要	6. 最初と最後の頁 59-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/79072	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Junqing XU, Yuyu Hu and Emako Miyoshi	4. 巻 3
2. 論文標題 Relationships between Subjective and Objective Cognition in PM2.5's Risk Cognition	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Manqing Zhang, Yuyu Hu and Emako Miyoshi	4. 巻 3
2. 論文標題 Use Intention Of Organic Fertilizer From Livestock Waste Among Planting Farmers In Rural Area, Southern Anhui, China: Focusing On The Difference Between Solid Compost And Liquid Biogas Slurry	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shinuo Wang, Yuyu Hu and Emako Miyoshi	4. 巻 3
2. 論文標題 The Identity Variation of Chinese Residents in Japan due to the COVID-19 Epidemic	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuyu Hu, Yuta Oshino, Yasuo Inoue, Yuki Oshima and Emako Miyoshi	4. 巻 3
2. 論文標題 Study of the Effect of Light on People in Automobiles	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuyu Hu, Fumitake Ou and Emako Miyoshi	4. 巻 3
2. 論文標題 The Impact of Railway Station Environment on Mental Status	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Toshinobu Hondo, Noriko Nakayama, Michisato Toyoda	4. 巻 463
2. 論文標題 Gas chromatography/miniaturized time-of-flight mass spectrometry technique for high-throughput quantitative on-site field analysis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Mass Spectrometry	6. 最初と最後の頁 116555-116555
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijms.2021.116555	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Noriko Nakayama, Yo Toma, Yusuke Iwai, Hiroshi Furutani, Toshinobu Hondo, Ryusuke Hatano, Michisato Toyoda	4. 巻 13
2. 論文標題 Mass spectrometric multiple soil-gas flux measurement system with a portable high-resolution mass spectrometer (MULTUM) coupled to an automatic chamber for continuous field observations	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Atmospheric Measurement Techniques	6. 最初と最後の頁 6657 - 6673
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/amt-13-6657-2020	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroshi Kobayashi, Toshinobu Hondo, Naruaki Imaoka, Motohiro Suyama, Michisato Toyoda	4. 巻 971
2. 論文標題 Development of novel ion detector that combines a microchannel plate with an avalanche diode	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section A: Accelerators, Spectrometers, Detectors and Associated Equipment	6. 最初と最後の頁 164110 - 164110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jms.4706	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Toshinobu Hondo, Hiroshi Kobayashi, Michisato Toyoda	4. 巻 9
2. 論文標題 Selective Extraction of a Monoisotopic Ion While Keeping the Other Ions in Flight on a Multi-Turn Time-of-Flight Mass Spectrometer.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mass spectrometry	6. 最初と最後の頁 A0088
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5702/massspectrometry.A0088	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tao Ma, Hiroshi Furutani, Fengkui Duan, Takashi Kimoto, Jingkun Jiang, Qiang Zhang, Xiaobin Xu, Ying Wang, Jian Gao, Guannan Geng, Meng Li, Shaojie Song, Yongliang Ma, Fei Che, Jie Wang, Lidan Zhu, Tao Huang, Michisato Toyoda, Kebin He	4. 巻 20
2. 論文標題 Contribution of hydroxymethanesulfonate (HMS) to severe winter haze in the North China Plain	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Atmospheric Chemistry and Physics	6. 最初と最後の頁 5887 - 5897
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/acp-20-5887-2020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yosuke Kawai, Yumi Miyake, Toshinobu Hondo, Jean-Luc Lehmann, Kentaro Terada, Michisato Toyoda	4. 巻 92
2. 論文標題 New Method for Improving LC/Time-of-Flight Mass Spectrometry Detection Limits Using Simultaneous Ion Counting and Waveform Averaging	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Analytical Chemistry	6. 最初と最後の頁 6579-6586
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.analchem.0c00301	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 胡 毓瑜, 李欣, 張曼青, 許俊卿, 金吉男, 王石諾, 三好恵真子	4. 巻 No.2021-1
2. 論文標題 中日地鉄PM2.5濃度調査分析	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 .雑誌名 大阪大学中国文化フォーラム・ディスカッションペーパー	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計76件（うち招待講演 3件 / うち国際学会 35件）

1. 発表者名 Yoshimoto, Y., Son, T. H., Sumimura, Y., and Miyoshi, E.
2. 発表標題 Overweight Prevalence and Lifestyle Trends in Children Aged 5 years in Southern Vietnam: estimates from 2012 to 2018
3. 学会等名 13th Asian Congress of Nutrition (ACN 2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉成哲平, 三好恵真子
2. 発表標題 アラスカの地に見出されたコスモスの時空 - 写真家 星野道夫が問い続けた「人間と自然の関わり」からの試論 -
3. 学会等名 日本生活学会 第46回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 コウセン, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国水汚染ガバナンスにおける民間河長参与に関する課題と展望 貴州省貴陽市の事例からの一考察
3. 学会等名 日本生活学会 第46回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 許俊卿, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 リスクコミュニケーションの視点から中国における大気汚染問題の新聞報道の再考
3. 学会等名 日本生活学会 第46回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 張曼青, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 「ポスト郷土中国」における養豚廃棄物処理の課題と展望 安徽省南部の事例における郷土性の継承及び耕種畜産形態からの再考
3. 学会等名 日本生活学会 第46回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 胡毓瑜, 張曼青, 三好恵真子
2. 発表標題 中国循環型畜産業における地域完結型バイオガス資源循環利用の課題と展望
3. 学会等名 日本生活学会 第46回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 李欣, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国河北省における大気汚染対策が人々の生活にもたらした影響
3. 学会等名 日本生活学会 第46回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 王石諾, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 福島県産食品をめぐる不可視のリスク - 在日中国人留学生を対象として -
3. 学会等名 日本生活学会 第46回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ヨウスイテイ, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国の重金属汚染に関する新聞報道の比較分析 環境ガバナンスの視点からの一考察
3. 学会等名 日本生活学会 第46回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 脈波データからみえる歌唱による心理状態の挙動
3. 学会等名 第21回日本感性工学学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 胡毓瑜, 張曼青, 三好恵真子
2. 発表標題 从生活環境主義角度对中国大規模畜禽養殖汚染的解決策的再探討
3. 学会等名 第十三屆國際學術會議“現代中國與東亞新格局”(國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 許俊卿, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 从風険溝通角度探討《人民日報》在大气汚染問題上的報道变化
3. 学会等名 第十三屆國際學術會議“現代中國與東亞新格局”(國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 張曼青, 胡毓瑜, 三好惠真子
2. 発表標題 關於舟山養殖場沼氣利用情況的系統分析與展望
3. 学会等名 第十三屆國際學術會議“現代中國與東亞新格局”(國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 許衛東
2. 発表標題 リーマンショック(2008)後の香港サービス経済の高度化と構造問題—珠江デルタにおける香港系製造業の経営行動の変化による検証—
3. 学会等名 第十三屆國際學術會議“現代中國與東亞新格局”(國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Junqing XU, Yuyu Hu and Miyoshi, E.
2. 発表標題 A Reconsideration of Newspaper Reports Regarding PM2.5 Problems in China under the Perspective of Risk Communication:Based on the Content Analysis of the Reports of “People’s Daily” from Jan.1,2012 to Dec.31,2016
3. 学会等名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering (IJCIME2019)(國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuyu Hu and Miyoshi, E.
2. 発表標題 An Empirical Study on the Analysis of Singing Effects Based on Pulse Waves
3. 学会等名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering (IJCIME2019)(國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松村悠子, 三好恵真子
2. 発表標題 島嶼地域の事例から検討する地域主体のエネルギー・トランジションと地域振興のあり方
3. 学会等名 日本生活学会 第45回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 董雪晨, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国における中古家電のリユース現状から見える課題 大都市と地方都市における中古家電市場の実態調査を踏まえて
3. 学会等名 日本生活学会 第45回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 HUANG XUAN, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国中小都市の生活廃水処理システムにおける課題と展望 - 貴州省の事例から市政公共事業市場化の実情の検証 -
3. 学会等名 日本生活学会 第45回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 許俊卿, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国における大気汚染問題のメディア環境の考察 1970.1.1 ~ 2011.11.30の『人民日報』の報道を対象として
3. 学会等名 日本生活学会 第45回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 張曼青, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国における家畜排泄物処理の課題と展望 - ポスト郷土社会における社会関係の変容からの一考察 -
3. 学会等名 日本生活学会 第45回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 李欣, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国における大気汚染に及ぼす自動車排ガスの構造的課題と今後の展望
3. 学会等名 日本生活学会 第45回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 辻寛, 三好恵真子
2. 発表標題 道路空間整備事業に向けての住民参画の動向からの一考察 - 泉南市府道樽井停車場樽井線における事例分析 -
3. 学会等名 日本生活学会 第45回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 張曼青, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 畜産廃棄物メタン発酵消化液に関する農地還元への展望 - 中国農村部飼育場における種々の事例からの考察 -
3. 学会等名 廃棄物資源循環学会 平成30年度 春の研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Manqing Zhang, Yuyu Hu and Miyoshi, E.
2. 発表標題 The Construction of Multi-Actor Biogas Utilization under Government Operation
3. 学会等名 Grand Renewable Energy 2018 (GRE2018) International Conference, Advanced Technology Paths to Global Sustainability (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 胡毓瑜，李欣，張曼青，許俊卿，三好恵真子
2. 発表標題 關於中国地鐵高濃度PM2.5污染現象的分析
3. 学会等名 第十二屆國際學術會議“現代中國與東亞新格局:改革開放40年的歷史認識(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Manqing ZHANG, Yuyu Hu and Miyoshi, E.
2. 発表標題 The Cyclic Utilization of Biogas Slurry in China's Rural Area
3. 学会等名 5th Global Summit and Expo On Pollution Control Conference (OCM for Pollution Control Summit- Series Conferences)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 董雪晨，胡毓瑜，三好恵真子
2. 発表標題 中国における家電廃棄物の回収システムの構築に向けた一考察 地方都市のインフォーマルセクターに対する現地調査を踏まえて
3. 学会等名 平成30年度廃棄物資源循環学会研究発表大会
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Yuyu Hu, Oyama-Higa, M. and Miyoshi, E.
2 . 発表標題 Using Pulse Waves for Self-Cognition
3 . 学会等名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering (ICIME2018) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Junqing XU, Yuyu Hu and Miyoshi, E.
2 . 発表標題 A consideration of media environment regarding air pollution problems in China: based on the content analysis of the reports of ' 'People 's Daily ' ' from 1970.1.1 to 2011.11.30
3 . 学会等名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering (ICIME2018) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Manqing ZHANG, Yuyu Hu and Miyoshi, E.
2 . 発表標題 The Cyclic Utilization of Biogas Slurry in Incomplete Information Society
3 . 学会等名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering (ICIME2018) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Xin Li, Yuyu Hu and Miyoshi, E.
2 . 発表標題 An analysis of high PM2.5 concentration air pollution in subway stations in China
3 . 学会等名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering (ICIME2018) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Go Yoshida, Kazuhiko Ninomiya, Makoto Inagaki, Michisato Toyoda, Jun Aoki, Naritoshi Kawamura, Yasuhiro Miyake, Atsushi Shinohara
2. 発表標題 Development of Muonic Atom Beam Extraction System and First Evaluation by Intense Negative Muon Beam of J-PARC MUSE
3. 学会等名 JPS Conf. Proc. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 許 衛東
2. 発表標題 構造調整下における中国のLED照明産業の立地動向と国際的生産連鎖に関する一考察
3. 学会等名 日本地理学会発表年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 許 衛東
2. 発表標題 グローバル立地調整の視座からみた日本製造業の「国内回帰」現象の実相
3. 学会等名 第十二届國際學術會議 “現代中國與東亞新格局:改革開放40年的歷史認識 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 姉崎正治, 胡毓瑜, 董雪晨, 三好恵真子
2. 発表標題 中国の小規模金鋳業に関する一考察
3. 学会等名 日本生活学会 第44回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松村悠子, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 新エネルギー開発の当事者性と制度的な課題解決に関する日中比較研究 両国の島嶼地域を事例として
3. 学会等名 日本生活学会 第44回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川優花, 三好恵真子
2. 発表標題 イラン河川灌漑地域における水配分をめぐる生業の維持と変容からの検討 水危機に対峙して生き抜くヴァルザネの人々
3. 学会等名 日本生活学会 第44回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 董雪晨, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国における家電廃棄物の回収現状から見える課題と展望 地方都市における現地の実態を踏まえた多面的考察
3. 学会等名 日本生活学会 第44回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 HUANG XUAN, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国における水汚染に関する研究 貴州省での生活廃水処理を事例として
3. 学会等名 日本生活学会 第44回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 夏今易, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 二者間コミュニケーションにおける人間関係が非言語表出に及ぼす影響
3. 学会等名 日本生活学会 第44回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三好恵真子
2. 発表標題 東亜PM2.5大気汚染の特性分析：前沿科学知識下の文理結合研究
3. 学会等名 第十一回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境：史料・認識・対話」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 胡毓瑜, 古谷浩志, 豊田岐聡, 三好恵真子
2. 発表標題 PM2.5成分分析及其観測、分析系統的開発
3. 学会等名 第十一回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境：史料・認識・対話」（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 姉崎正治, 董雪晨, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国水銀使用の現状と環境問題：關於区域汚染和跨区域汚染的事例分析
3. 学会等名 第十一屆現代中國社會變動與東亞新格局國際學術討論會（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 發表者名 許俊卿，胡毓瑜，三好惠真子
2. 發表標題 大气污染問題的紙媒報道框架考察：以1970-2010《人民日報》報道為对象
3. 学会等名 第十一屆現代中國社會變動與東亞新格局國際學術討論會（國際学会）
4. 發表年 2017年

1. 發表者名 張曼青，胡毓瑜，丁良才，三好惠真子
2. 發表標題 从能源利用到環境保護：舟山沼氣利用模式的變遷及展望
3. 学会等名 第十一屆現代中國社會變動與東亞新格局國際學術討論會（國際学会）
4. 發表年 2017年

1. 發表者名 董雪晨，胡毓瑜，三好惠真子
2. 發表標題 中国電子廢棄物的非正規回收現狀及对策
3. 学会等名 第十一屆現代中國社會變動與東亞新格局國際學術討論會（國際学会）
4. 發表年 2017年

1. 發表者名 三好惠真子
2. 發表標題 東亞PM2.5大气污染的特性分析：前沿科學知識下的文理結合研究
3. 学会等名 第十一屆現代中國社會變動與東亞新格局國際學術討論會（國際学会）
4. 發表年 2017年

1. 発表者名 李欣, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国自動車尾气对大气污染的影響：从三元催化器着眼
3. 学会等名 第十一屆現代中國社會變動與東亞新格局國際學術討論會（國際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 HUANG XUAN, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国中小城市生活污水处理系統的現状及分析：以貴州省多个污水处理厂の实地調査為中心
3. 学会等名 第十一屆現代中國社會變動與東亞新格局國際學術討論會（國際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 胡毓瑜, 川原春花, 三好恵真子
2. 発表標題 是“黑”還是“親善”?: 浅析日本動漫作品中的中国角色
3. 学会等名 第十一屆現代中國社會變動與東亞新格局國際學術討論會（國際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 董雪晨, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国における家電廃棄物の回収現状から見える課題と展望 地方都市のインフォーマルセクターの実態調査からの考察
3. 学会等名 平成29年度廃棄物資源循環学会研究発表大会（國際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yuyu Hu, Li Zhe, Oyama-Higa, M. and Miyoshi, E.
2. 発表標題 Exploring the use of pulse waves psychological indicators in learning
3. 学会等名 The Sixth International Conference on Educational Innovation through Technology (EITT 2017), Osaka, 7 to 9 December 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三好恵真子, 松村悠子, 胡毓瑜
2. 発表標題 “共進化 (Co-evolution)” する環境: 実践志向型地域研究による課題解決の試み
3. 学会等名 エリアマネジメント研究会「協働研究によるエリアマネジメントのための産官学民連携コンソーシアムの開発」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 魏殊, 許衛東
2. 発表標題 日台ビジネス・アライアンスの諸形態と対中経済連携の活性化
3. 学会等名 第十一回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境: 史料・認識・対話」論文集 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中山典子, 豊田岐聡
2. 発表標題 多成分ガス同時計測から地球表層の環境を探る
3. 学会等名 第十一回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境: 史料・認識・対話」論文集 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 青木順, 豊田岐聡
2. 発表標題 多重周回飛行時間型質量分析計の基本原理と応用分野
3. 学会等名 第十一回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境:史料・認識・対話」論文集(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉成哲平, 三好恵真子
2. 発表標題 時空を越え暮らしへと結ばれていく写真実践 風景との出会いの中で揺れ動く写真家たちの心のひだを見つめて
3. 学会等名 日本生活学会 第47回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西川優花, 三好恵真子
2. 発表標題 イラン・ヴァルザネに生きる人びとの生活史に刻まれた早魃とその応答
3. 学会等名 日本生活学会 第47回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 董雪晨, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国における家電廃棄物の回収・管理の実態と課題 地方都市鶴崗市の事例を踏まえて
3. 学会等名 日本生活学会 第47回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 黄セン, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国水環境ガバナンス政策の実施プロセスにおける民間河長体系の形成と発展: 貴州省貴陽市における事例からの考察
3. 学会等名 日本生活学会 第47回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 許俊卿, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 在日中国人のPM2.5問題に対するリスク認知と影響要因に関する考察
3. 学会等名 日本生活学会 第47回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 張曼青, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国皖南地域における畜産廃棄物由来の有機肥料に対する耕種農家の受容性の差異
3. 学会等名 日本生活学会 第47回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 李欣, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 大気汚染重点地域からの脱出を支えた地域社会の対応と展望 中国広東省広州市における事例からの考察
3. 学会等名 日本生活学会 第47回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 王石諾, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 不可視のリスクに対処するために可動性と絆の狭間に生きる人々
3. 学会等名 日本生活学会 第47回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 冷昕媛, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国における水汚染における新しい環境ガバナンスの構築—政府と環境NPO・NGOの関係分析を研究視角として
3. 学会等名 日本生活学会 第47回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 許俊卿, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 メディア研究におけるフレーム理論の扱いに関する日中比較 リスクコミュニケーションと関連する視角からの分析
3. 学会等名 2020年度日本現代中国学会関西西部会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 張曼青, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 中国小規模耕種農家の化学肥料依存の施肥行為に影響する「習慣的経験」に関する一考察
3. 学会等名 2020年度日本現代中国学会関西西部会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 王石諾, 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 福島原発事故による不可視なリスクに対処する在日中国人留学生のライフストーリー
3. 学会等名 2020年度日本現代中国学会関西部会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三好恵真子
2. 発表標題 “共進化(Co-evolution)”する環境—可能性を伸ばす研究教育—
3. 学会等名 第4回地域課題の発見及び解決のための人材育成手法の検討に係る研究会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 胡毓瑜, 三好恵真子
2. 発表標題 実測の脈波データから分析する歌唱による心理状態の挙動
3. 学会等名 第22回日本感性工学学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Junqing XU, Yuyu Hu and Emako Miyoshi
2. 発表標題 Relationships between Subjective and Objective Cognition in PM2.5's Risk Cognition
3. 学会等名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering (IJCIME2020) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Manqing Zhang, Yuyu Hu and Emako Miyoshi
2. 発表標題 Use Intention Of Organic Fertilizer From Livestock Waste Among Planting Farmers In Rural Area, Southern Anhui, China: Focusing On The Difference Between Solid Compost And Liquid Biogas Slurry
3. 学会等名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering (IJCIME2020) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shinuo Wang, Yuyu Hu and Emako Miyoshi
2. 発表標題 The Identity Variation of Chinese Residents in Japan due to the COVID-19 Epidemic
3. 学会等名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering (IJCIME2020) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yuyu Hu, Yuta Oshino, Yasuo Inoue, Yuki Oshima and Emako Miyoshi
2. 発表標題 Study of the effect of light on people in automobiles
3. 学会等名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering (IJCIME2020) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yuyu Hu, Fumitake Ou and Emako Miyoshi
2. 発表標題 The Impact of Railway Station Environment on Mental Status
3. 学会等名 International Joint Conference on Information, Media and Engineering (IJCIME2020) (国際学会)
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 三好恵真子, 胡 毓瑜 (田中仁 江沛 陳鴻図 (編))	4. 発行年 2020年
2. 出版社 社会科学文献出版社	5. 総ページ数 645
3. 書名 「中国舟山群島新区捕撈活動的变化及其影響 从漁民的叙述看社会問題」『現代中国社会變動與東亞新格局第二輯』	

1. 著者名 許衛東 (田中仁 江沛 陳鴻図 (編))	4. 発行年 2020年
2. 出版社 社会科学文献出版社	5. 総ページ数 645
3. 書名 「浅議“釣魚島”主權爭議背景下日企对華投資的調整及市場鏈發展的新動向」『現代中国社会變動與東亞新格局第二輯』	

1. 著者名 豊田岐聡, 青木順, 古谷浩志 (田中仁 江沛 陳鴻図 (編))	4. 発行年 2020年
2. 出版社 社会科学文献出版社	5. 総ページ数 645
3. 書名 基于現場質譜分析的环境問題文理結合研究『現代中国社会變動與東亞 新格局第二輯』	

1. 著者名 三好恵真子 (大竹久夫他 (編))	4. 発行年 2017年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 344
3. 書名 環境教育の役割『リン事典』	

1. 著者名 許衛東（竹内啓一主編著）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 1248
3. 書名 「その他」『アジ世界地名大事典（アジア・オセアニア・極）』	

1. 著者名 許衛東（竹内啓一主編著）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 1208
3. 書名 「その他」『アジ世界地名大事典（アジア・オセアニア・極）』	

〔出願〕 計1件

産業財産権の名称 液滴粒子と液滴粒子の生成方法および生成装置	発明者 紀本岳志・豊田岐 聡・中山浩志	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、2018-20497	出願年 2018年	国内・外国の別 国内

〔取得〕 計0件

〔その他〕

大阪大学中国文化フォーラムHP http://www.law.osaka-u.ac.jp/c-forum/
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	許 衛東 (XU Weidong) (10263344)	大阪大学・経済学研究科・准教授 (14401)	
研究分担者	豊田 岐聡 (TOYODA Michisato) (80283828)	大阪大学・理学研究科・教授 (14401)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会	開催年
第十一届現代中国社会變動與東亞新格局國際學術討論會（第十回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境：史料・認識・対話」）	2017年～2017年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
中国	南開大学	武漢大学	香港中文大学	他6機関
韓国	ソウル大学			